

第 81 期

業 務 報 告 書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日





基本方針

備北信用金庫は
地元の皆様ならびに
中小企業者の方々の金融機関として
地域社会の発展に寄与する

経営方針

- (1) 中小企業金融の公共性に鑑み、広く地域経済と密着し、その繁栄に奉仕する。
- (2) 経営に創意と総力を結集して、金庫の業容拡大と機能の充実をはかり経営体質の強化に努める。
- (3) 人材の育成をはかり、職員の福利増進と生活水準の向上につとめ希望と活気ある明るい職場づくりに努める。

概要

| | |
|-----|-------------------|
| 創立 | 昭和6年11月2日 |
| 本店 | 岡山県高梁市正宗町1964番地の1 |
| 役員数 | 83名 |
| 店舗数 | 10店舗 |
| 会員数 | 7,474人 |
| 出資金 | 330百万円 |
| 預金 | 122,363百万円 |
| 貸出金 | 48,935百万円 |

(令和8年3月末現在)

ごあいさつ

向暑の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当金庫に対しましては、平素から格別のご支援とご愛顧を賜り厚くお礼を申し上げます。本年もここに、第81期の事業概況と決算の状況につきまして報告するにあたりご挨拶を申し上げます。

昨年度の我が国の経済は、全体として「緩やかな回復基調」で推移致しました。実質GDP成長率は、概ね1%前後と低成長ながらプラスを維持し、景気は持ち直しの動きを示しました。内需面では、企業収益の改善や設備投資の増加、賃上げの進展を背景に回復傾向がみられた一方、物価上昇の影響で個人消費は力強さを欠きました。消費者物価はエネルギー価格などの影響で上昇し、実質賃金の伸び悩みが家計の重しとなりました。外需面では、米国の通商政策や中国経済の減速などの影響により輸出は伸び悩み、景気の下押し要因となりました。また、一部の四半期では、マイナス成長もみられ、景気の不安定さも残りました。総じて、昨年度の日本経済は内需を中心に回復しつつも、外部環境の不確実性や物価上昇の影響により力強さに欠ける状況が続きました。

そうした経済環境のもと、昨年度の当地域の経済は、人口減少や物価高騰の影響を受けつつも、観光需要の回復や地域振興策により持ち直しの動きも見られました。特に観光分野では交流人口の拡大を目指し関連消費の増加が期待されました。一方で中小企業や地域商業は人手不足やコスト上昇の課題を抱え、行政は補助金や販路開拓支援などを通じて下支えを図りました。総じて回復基調にあるが、構造的課題も残る状況です。

こうした金融経済環境情勢のもと、信用金庫の原点である「相互扶助」の基本理念に基づき、取引先企業の経営環境の変化に的確に対応できるよう取引先企業の支援に取り組み、また、お客様との接点となる一部の店舗を改装、地域社会と経済の持続的発展に向けて対応を進め、預金面においては、各種定期預金キャンペーンに加え「吉備国際大学シャルム岡山高梁応援定期預金」などを続け、公金預金においては指定金融機関を継続したこともあり預金残高は122,363百万円となりました。融資面においては、事業承継販路拡大、デジタル化、人手不足対応など取引先企業の課題解決やコンサルティング機能強化に努めるとともに、個人向け融資においてはWEB完結ローンの推進等に取り組み、貸出金残高は48,935百万円となりました。収支面は、店舗改装、設備更新、デジタル化対応を進めつつ効率的な資金運用に努め、厳正な諸償却と引当を行った結果、当期純利益を140百万円を計上しました。

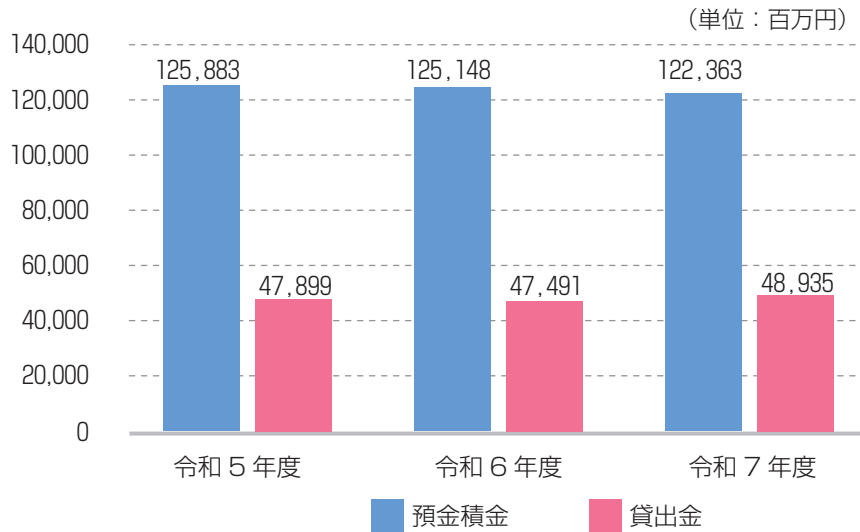
令和8年度の我が国の経済は、賃上げや内需回復により緩やかな成長が見込まれます。一方、イラン・イスラエル・米国を巡る情勢不安により資源価格や為替が不安定化し、物価上昇や企業収益の下押しなど下振れリスクが懸念されます。中期3カ年計画の2年目の年度として、地域企業の方々への事業支援などのコンサルティング機能の強化に努めるとともに、地域に根差した協同組織金融機関として会員、お客様の課題解決に尽力し、当地域の経済社会の持続的発展成長に貢献するとともに、法令遵守を徹底し堅実経営に努めて参ります。

令和8年6月

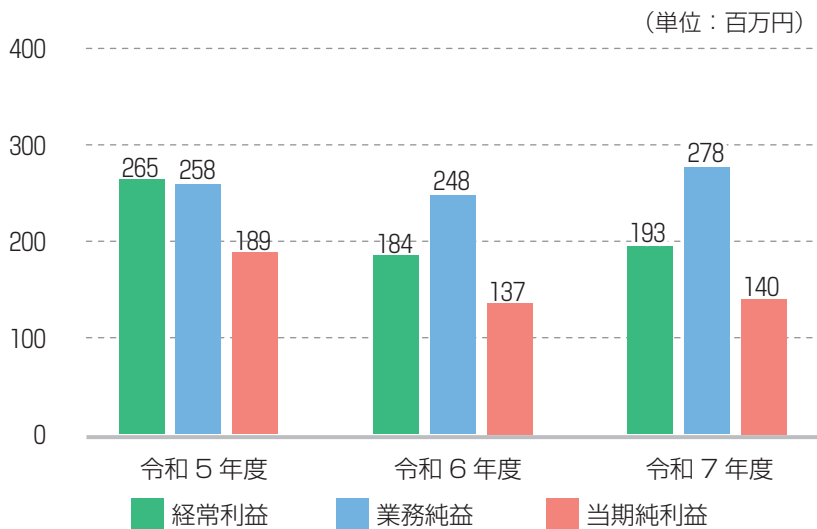
備北信用金庫
理事長 岡田 誠 治

業 績

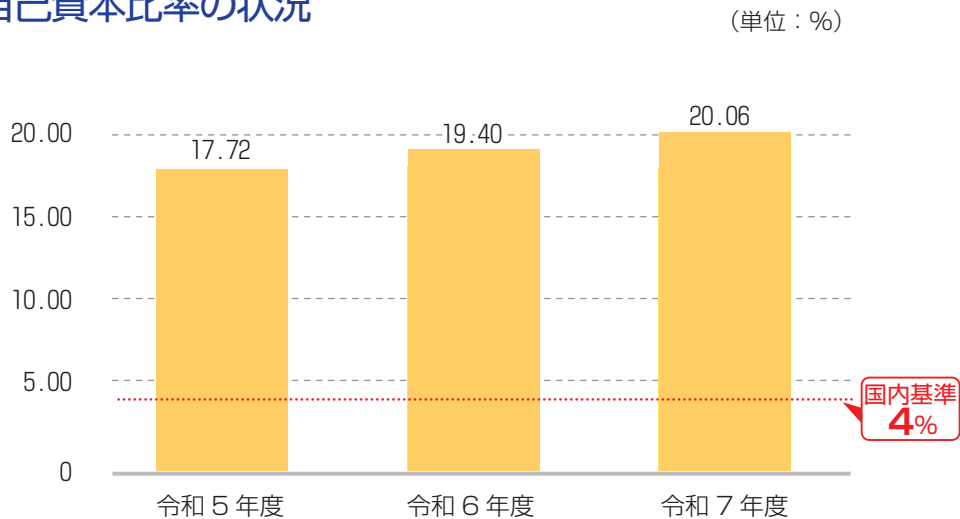
預金積金残高・貸出金残高の推移



経常利益・当期純利益の推移



自己資本比率の状況



リスク管理 債権の状況

信用金庫法開示債権（リスク管理債権）及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

（単位：百万円、％）

| | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 破産更正債権及びこれらに準ずる債権 | 450 | 355 |
| 危険債権 | 842 | 873 |
| 要管理債権 | 5 | 5 |
| 三月以上延滞債権 | - | - |
| 貸出条件緩和債権 | 5 | 5 |
| 小計 (A) | 1,297 | 1,234 |
| 保全額 (B) | 1,297 | 1,234 |
| 保全率 (B) / (A) (%) | 100.00% | 100.00% |
| 引当率 (%) | 100.00% | 100.00% |
| 正常債権 (C) | 46,450 | 47,964 |
| 総与信残高 (A) + (C) | 47,748 | 49,199 |

(注)

- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
- 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
- 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
- 「保全額」(B)は、「個別貸倒引当金」・「一般貸倒引当金」・「担保・保証等」の合計額です。
- 「引当率」は、 $(「個別貸倒引当金」+「一般貸倒引当金」) \div (「小計」(A)-「担保・保証等」)$ より算出しております。
- 「正常債権」(C)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。）です。

貸借対照表

第81期

令和8年3月31日現在

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|---------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| | 千円 | | 千円 |
| 現金 | 886,089 | 預金 | 122,363,316 |
| 預け金 | 45,989,207 | 当座預金 | 1,997,344 |
| 買入金銭債権 | 4,044,465 | 普通預金 | 52,316,665 |
| 金銭の信託 | 10 | 貯蓄預金 | 4,068 |
| 有価証券 | 30,718,024 | 通知預金 | 40,010 |
| 国債 | 504,747 | 定期預金 | 61,024,139 |
| 地方債 | 7,590,502 | 定期積金 | 6,341,817 |
| 社債 | 17,931,436 | その他の預金 | 639,269 |
| 株 | 587,827 | 借入金 | 241,000 |
| その他の証券 | 4,103,510 | 借入金 | 241,000 |
| 貸出金 | 48,935,966 | その他負債 | 305,874 |
| 割引手形 | 52,266 | 未決済為替 | 20,378 |
| 手形貸付 | 2,216,861 | 未払費用 | 95,939 |
| 証書貸付 | 44,281,117 | 給付補填備金 | 6,253 |
| 当座貸越 | 2,385,721 | 未払法人税等 | 67,620 |
| その他資産 | 967,364 | 前受収益 | 7,471 |
| 未決済為替貸 | 9,841 | 払戻未済金 | 120 |
| 信金中金出資 | 701,200 | 職員預り金 | 47,768 |
| 前払費用 | 50 | リース債務 | 25,078 |
| 未収収益 | 254,728 | その他の負債 | 35,243 |
| その他の資産 | 1,544 | 賞与引当金 | 29,872 |
| 有形固定資産 | 933,543 | 役員退職慰労引当金 | 78,958 |
| 建物 | 184,427 | 債務保証 | 219,482 |
| 土地 | 636,510 | 負債の部合計 | 123,238,503 |
| リース資産 | 22,906 | | |
| その他の有形固定資産 | 89,699 | (純資産の部) | |
| 無形固定資産 | 3,867 | 出資金 | 330,583 |
| ソフトウェア | 1,825 | 普通出資金 | 330,583 |
| その他の無形固定資産 | 2,041 | 利益剰余金 | 9,866,229 |
| 繰延税金資産 | 550,104 | 利益準備金 | 331,911 |
| 前払年金費用 | 36,561 | その他利益剰余金 | 9,534,317 |
| 債務保証見返 | 219,482 | 特別積立金 | 9,170,000 |
| 貸倒引当金 | △ 700,434 | (体質強化積立金) | (2,030,000) |
| (うち 個別貸倒引当金) | (△ 587,269) | (機械化対応積立金) | (20,000) |
| | | 当期末処分剰余金 | 364,317 |
| | | 会員勘定合計 | 10,196,812 |
| | | その他有価証券評価差額金 | △ 851,063 |
| | | 評価・換算差額等合計 | △ 851,063 |
| | | 純資産の部合計 | 9,345,749 |
| 資産の部合計 | 132,584,252 | 負債及び純資産の部合計 | 132,584,252 |

千円未満は切り捨てて表示しております。

損益計算書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

| 科 目 | 金 額 | 金 額 |
|--------------|-----------|-----------|
| | 千円 | 千円 |
| 経常収益 | 1,355,611 | 1,535,929 |
| 資金運用収益 | | |
| 貸出金利息 | 702,928 | |
| 預け金利息 | 329,966 | |
| 有価証券利息配当金 | 291,314 | |
| その他の受入利息 | 31,401 | |
| 役務取引等収益 | 162,144 | |
| 受入為替手数料 | 40,634 | |
| その他の役務取引等収益 | 121,510 | |
| その他業務収益 | 10,895 | |
| その他の業務収益 | 10,895 | |
| その他経常収益 | 7,279 | |
| 株式等売却益 | 7,234 | |
| その他の経常収益 | 44 | |
| 経常費用 | 198,919 | 1,342,495 |
| 資金調達費用 | | |
| 預金利息 | 188,534 | |
| 給付補填備金繰入額 | 5,060 | |
| 借入金利息 | 5,072 | |
| その他の支払利息 | 251 | |
| 役務取引等費用 | 99,716 | |
| 支払為替手数料 | 16,616 | |
| その他の役務取引等費用 | 83,099 | |
| その他業務費用 | 22,695 | |
| 国債等債券売却損 | 5,706 | |
| その他の業務費用 | 16,989 | |
| 経費 | 920,549 | |
| 人件費 | 598,307 | |
| 物件費 | 299,424 | |
| 税金 | 22,817 | |
| その他経常費用 | 100,615 | |
| 貸倒引当金繰入額 | 100,381 | |
| その他の経常費用 | 233 | |
| 経常利益 | | 193,434 |
| 特別損失 | | 1,254 |
| 固定資産処分損 | 1,254 | |
| 税引前当期純利益 | | 192,179 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 70,776 | |
| 法人税等調整額 | △ 18,724 | |
| 法人税等合計 | | 52,052 |
| 当期純利益 | | 140,126 |
| 繰越金(当期首残高) | | 224,191 |
| 当期末処分剰余金 | | 364,317 |

千円未満は切り捨てて表示しております。

第81期 剰余金処分

当期末処分剰余金 364,317,907円

これを下記のように処分します。

| | |
|------------------|--------------|
| 剰余金処分量 | 159,917,435円 |
| 普通出資に対する配当金(年3%) | 9,917,435 |
| 特別積立金 | 150,000,000 |
| (うち体質強化積立金) | 20,000,000) |
| 繰越金(当期末残高) | 204,400,472円 |

上記のとおりであります。

令和8年6月

備北信用金庫

理事長 岡田 誠 治 理事 中村 浩 巳
常務理事 金地 正 晴 理事 宮崎 和 司
常務理事 福本 智 之 理事 磯村 尚 子
常勤理事 永田 尚 則

前記各項を監査の結果、その正確なことを認めます。

常勤監事 西井 孝 行 監事 大森 國 正
監事 永井 芳 郎

尚、有限責任監査法人トーマツによる監査の結果、適法と認められております。

(注) 監事 永井芳郎は、信用金庫法第32条第5項に規定する員外監事です。

トピックス

令和7年度

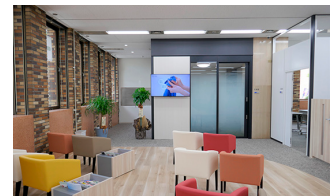
- 4月
 - ・「吉備国際大学シャルム岡山高梁」備北信用金庫スポンサーマッチデー
 - ・第63回岡山県信用金庫野球大会が倉敷マスカットスタジアムで開催
 - ・高梁市社会福祉協議会へ福祉車両「びしん福祉号」寄贈
 - ・むつみ会旅行「こんぴら歌舞伎」
- 5月
 - ・新見営業部リニューアルオープン
 - ・新見備北信交会旅行「神戸クルーズ」
 - ・びしん経営者クラブ総会
 - ・寿会旅行「伊勢神宮」
- 6月
 - ・「信用金庫の日」のボランティア実施（各営業店で清掃活動等を実施）
 - ・「信用金庫の日」各営業店で絵画展などのイベントを開催、来店者には記念品を贈呈
 - ・第37回理事長杯ゲートボール大会を開催（高梁浄化センター）
 - ・第80期通常総代会を開催
 - ・備北信交会旅行「高知方面」
- 7月
 - ・新見営業部が「環境おかやま大賞」受賞
 - ・第100回記念しんきん悠々会囲碁大会
 - ・びしん経営者クラブセミナー
 - ・第4回備北信用金庫杯学童軟式野球大会を開催（新見ピオーネ球場）
 - ・「吉備国際大学シャルム岡山高梁」へチーム強化支援金を贈呈
 - ・「備中たかはし松山踊り」うちわ感謝状授与式及び贈呈式
- 8月
 - ・大佐支店で昼休業導入
 - ・「新見ふるさと祭り」団体連参加
 - ・「備中たかはし松山踊り」団体連参加
- 9月
 - ・中央支店が新見営業部の店舗内店舗へ移転
- 10月
 - ・第14回理事長杯ゴルフコンペ（北房カントリー倶楽部）
- 11月
 - ・介護予防のための運動法セミナー開催
 - ・地区総代協議会を開催
 - ・第19回岡山県しんきん合同ビジネス交流会を開催（コンベックス岡山）
 - ・備中松山城の清掃ボランティア活動を実施
- 1月
 - ・終活セミナー開催
- 2月
 - ・第36回岡山県ロールプレイング大会
 - ・相続セミナー開催
 - ・特殊詐欺等の被害防止に関する協定締結式（岡山県警察本部庁舎）
- 3月
 - ・地区内の新入学児童に対し学用品をプレゼント



「吉備国際大学シャルム岡山高梁」
スポンサーマッチデー



福祉車両「びしん福祉号」寄贈



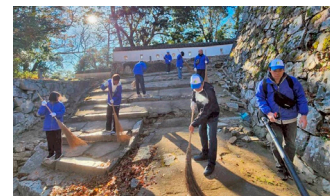
新見営業部リニューアル



「信用金庫の日」絵画展



備中たかはし松山踊り団体連



備中松山城の清掃ボランティア



終活セミナー

店舗一覧

| 店舗名 | 住所・電話番号 | ATM利用時間 |
|--------------------------------|--|---------------------------------|
| 本店 下町支店 (本店営業部 店舗内店舗) | 〒716-0037 高梁市正宗町1964番地の1 TEL (0866) 22-2191 | 平日 8:45~19:00 土日祝 8:45~19:00 |
| 事務センター | 〒716-0037 高梁市正宗町1967番地の7 TEL (0866) 22-2192 | |
| 成羽支店 | 〒716-0111 高梁市成羽町下原963番地の2 TEL (0866) 42-2644 | 平日 8:45~19:00 土日祝 8:45~19:00 |
| 賀陽支店 | 〒716-1122 加賀郡吉備中央町竹荘486番地の2 TEL (0866) 54-1335 | 平日 8:45~19:00 土日祝 8:45~19:00 |
| 北房支店 | 〒716-1411 真庭市上水田2998番地の3 TEL (0866) 52-3151 | 平日 8:45~18:00 土日祝 — |
| 落合支店 | 〒716-0061 高梁市落合町阿部1282番地の3 TEL (0866) 22-1500 | 平日 8:45~18:00 土日祝 — |
| 新見営業部 中央支店 (新見営業部 店舗内店舗) | 〒718-0003 新見市高尾2482番地の1 TEL (0867) 72-4411 | 平日 8:45~19:00 土日祝 8:45~19:00 |
| 正田支店 | 〒718-0013 新見市正田257番地の11 TEL (0867) 72-0724 | 平日 8:45~19:00 土日祝 8:45~19:00 |
| 大佐支店 | 〒719-3503 新見市大佐小阪部1501番地の2 TEL (0867) 98-2878 | 平日 8:45~18:00 土日祝 8:45~18:00 |

店舗外ATMコーナー

| 所在地 | ATM利用時間 |
|--------------|-----------------------------------|
| ポルカ天満屋ハピータウン | 平日 10:00~20:00 土日祝 10:00~19:00 |
| イズミゆめタウン 高梁店 | 平日 9:30~20:00 土日祝 9:30~19:00 |
| 吉備国際大学 | 平日 9:00~17:00 土日祝 — |
| 新見市役所 | 平日 9:00~17:00 土日祝 — |
| 高梁市役所(共同設置) | 平日 9:00~18:00 土日祝 — |